



ふながた
WAKU WAKU WORK
 おかえり!
孫プロジェクト

7月6日、地域企業等13社が一堂に会し、町内の中学生向けの職業体験会「ふながたWAKU WAKU WORK」が舟形中学校で開催されました。今回で5回目となるこの職業体験会ですが、初の試みで、舟形小学校の6年生も参加しました。

小学生のうちから職業体験を

参加対象とした小学6年生と中学1年生の段階では、事前アンケートより、「将来の職業」や「どこで働きたいか」が具体的に決まっているという児童生徒は少数でした。この時期に職業体験会を行うことで、いろいろな仕事、特にこの地域の仕事への興味関心を持つてもらい、将来の選択肢を広げることが目的にしています。

これは、若者の地元回帰と定住を目指す「おかえり！孫プロジェクト」の事業として取組んでいます。進学等で町を離れた若者が、その後なかなか地元へ戻らないことが人口減少の大きな要因のひとつであり、町の課題となっています。

若者の地元回帰の大きなカギは「仕事」と「働く場所」です。また、地域企業も人材不足が課題であることから、地域全体で地元へ戻る若者が少しでも増えるように、継続してこの事業を行っています。

他にも、舟形中学校では2年生と3年生の時期に町内や最上地域の企業での職場体験学習「トライワーク」を実施しています。生徒は、1年生までに仕事への興味関心を高め、地域のいろいろな企業で実際に働く体験を行っています。このような経験を積み重ねる中でこの地域で暮らすことや、地域への興味が育つことを、町も学校も期待しています。

地域の大人にも知って欲しい

進路を決めるには大人の意見は大きな影響を与えます。そのため、特に保護者のみなさんからも、地域の企業を知ってもらおう取組みを進めていきたいと考えています。

本町は舟形インターチェンジを構え、交通の便がとよいため、県内各方面に通勤可能です。そのため、例年最上地域の企業だけでなく、通勤圏内の市町村の企業にも参加を依頼して、今年度は13社に協力していただきました。次のページで参加企業について紹介します。